

交通ルールを守って安全に

1秒の不注意 1生の後悔



年末は交通量が増加するとともに、飲酒する機会の増加や日没時間が早いことなどから、毎年交通事故が多発しています。交通事故は、被害者だけでなく加害者の人生も狂わせます。交通ルールを守り、安全に一年を締めくくりましょう。

指標	県内順位
人口10,000人当たりの人身事故件数	ワースト1位
人口10,000人当たりの交差点事故件数	ワースト1位
人口10,000人当たりの四輪車事故件数	ワースト1位
高齢者1,000人当たりの高齢者事故件数	ワースト1位

表：平成24年中の市内の交通事故発生件数

市内の交通事故死者数は、昭和45年の49人をピークとして着実に減少し、平成24年は9人、平成25年は10月末時点で6人となっています。しかしながら、交通事故は頻発しており、昨年の事故総数は3,874件。その内人身事故は1,008件にも上っています。この数は県内でも上位であり、深谷市は特に注意が必要な地域とされています。このような状況を踏まえ、市では市民の皆さんの安全対策への意

市内の事故件数は県内上位

識向上を図り、次のようなさまざまな施策を実施しています。

①高齢者を対象とした実践的な交通安全講習会を開催

市内では高齢者の事故が多発しています。今年に入って発生した6件の死亡事故についても、そのうち5件は高齢者が犠牲となっています。

このため、高齢者を対象に、自動車教習所のコースを利用して実践的な交通安全講習会を開催しています。運転の基本を再確認するほか、身体機能の低下も再認識すること、年齢にあわせた安全運転の方法を身に着けます。

②子ども向けに交通安全教室を開催

市内にある全ての保育園、幼稚園、小・中学校を対象に交通安全教室を行っています。基本的な交通ルールのほか、最近非常に多い自転車による事故を起こさないための指導を行っています。

③交通事故防止運動を実施

年に4回、季節の変わり目となる

る月に、その時季特有の交通事故について重点目標を掲げ、注意を喚起しています。

事故が増える年末は要注意

上図「平成24年の月別交通事故発生件数」からも分かるように12月は、特に事故が多くなる時季です。飲酒による事故はもちろんですが、最近、問題となっているのが「路上寝込み」による事故です。

県内における路上寝込みの死亡事故件数は、平成20～23年まで4年連続で全国ワースト1位、平成

24年も2位と極めて多い状態が続いています。ゆとりある車間距離を保ち、視界を広くとって危険を回避できるようにしましょう。また、現在、市では冬の交通事故防止運動（左記参照）を実施しています。年末を安全に過ごし、素敵な新年を迎えましょう。



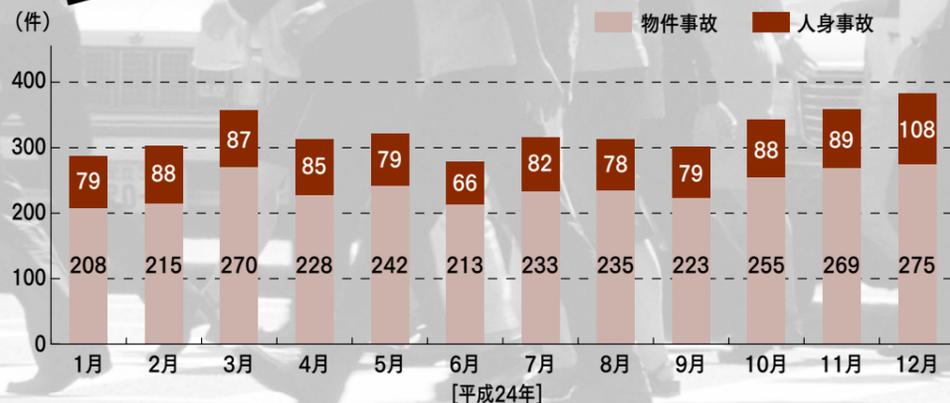
▲子どもを対象にした交通安全の講話（幡羅公民館）



深谷警察署交通安全教育講師 大澤晴子さん

深谷市では、高齢者の死亡事故が多発しています。特に交差点での人身事故は6割以上を占めている状況です。年末が近づくにつれて人や車の動きが慌ただしくなり、交通事故の多発が懸念されます。また、飲酒の機会が増加するこの時期に、もう一度飲酒運転の危険性を認識し、交通事故防止を図ってください。被害者・加害者にならないために、交通ルールを守り、余裕を持った行動をお願いします。

深谷市交通事故発生件数



図：平成24年の月別交通事故発生件数

平成24年は3,874件の事故が発生しています。月ごとに見ると、12月は人身事故・物件事故ともに年間で最も多く事故が発生しています。

12月14日(土)まで実施

冬の交通事故防止運動

問い合わせ 道路管理課 (☎574 - 8861)
〈重点目標〉

①高齢者の交通事故防止

高齢者の交通安全意識の高揚を図るとともに、高齢者に対する保護意識を高める。

②自転車の安全利用の推進

自転車利用者の交通安全意識を高め、交通ルールの順守と交通マナーの向上を促進する。

③飲酒運転の根絶および路上寝込みなどによる交通事故防止

飲酒運転は悲惨な重大事故を引き起こす危険性が高い悪質な犯罪であることを訴え、飲酒運転を根絶する。また、飲酒による路上寝込みなどが原因の交通死亡事故の防止を図る。

人事行政運営状況

職員の内用、給与や勤務状況など、人事行政の運営状況(概要)をお知らせします。詳しい内容は、市ホームページ、または市役所本庁舎市政情報コーナーをご覧ください。 **問い合わせ** 人事課 (☎574-6636)

職員の任用および職員数に関する状況

職員の採用・退職者数

区分	一般職	技能労務職	消防職	合計
採用者数(平成25年度)	28人	0人	8人	36人
退職者数(平成24年度)	32人	0人	9人	41人
再任用職員数(平成25年度)	7人	0人	0人	7人
再任用職員退職者数(平成24年度)	1人	0人	0人	1人

※再任用職員数とは、高齢者雇用の推進などのため、定年退職者などのうち、改めて採用される職員の数です。

部門別職員数(平成25年4月1日現在)

区分	職員数
一般行政部門	
議会	8人
総務	178人
税務	60人
民生	191人
衛生	48人
労働	3人
農林水産	29人
商工	14人
土木	119人
小計	650人
特別行政部門	
教育	146人
消防	223人
小計	369人
公営企業などの会計部門	
水道	31人
下水道	27人
その他	28人
小計	86人
合計	1,105人

※平成25年4月1日現在の定員管理調査に基づく人数です。
 ※職員数は、休職者を含み、大里広域市町村圏組合派遣職員、県消防学校派遣職員および臨時または非常勤職員を除いています。

職員級別(平成25年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
標準的な職務内容	主事補・技師補	主事・技師	主任	係長・主査	課長補佐	課長・主幹	次長	部長
職員数	59人	173人	273人	340人	110人	78人	24人	16人
構成比	5.3%	15.7%	24.7%	30.8%	10.0%	7.1%	2.2%	1.4%

技能労務職

区分	1級	2級
標準的な職務内容	業務員・給食調理員	
職員数	20人	11人
構成比	1.8%	1.0%

※職員数の合計は、1,104人です(部門別職員数の状況から教育長を除いたもの)。
 ※深谷市の給与条項に基づく給料表の級区分による職員数です。
 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

職員の給与に関する状況

人件費(平成24年度普通会計決算)

住民基本台帳人口(平成25年3月31日)	歳出額(A)	人件費(B)	人件費比率(B/A)
146,189人	461億1,639万円	85億7,571万円	18.6%

※普通建設事業に係る人件費を含めています。

職員給与費(平成24年度普通会計決算)

職員数	給与費		合計
	給料	職員手当(うち期末・勤勉手当)	
1,034人	38億749万円	21億4,824万円(13億8,910万円)	59億5,574万円

※職員手当には、退職手当を含みません。

職員の平均給料月額と平均年齢(平成25年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	316,576円	41.5歳

職員の初任給(平成25年4月1日現在)

区分	大学卒	短大卒	高校卒
一般行政職	178,800円	158,700円	144,500円

職員の学歴・経験年数別平均給料月額(平成25年4月1日現在)

区分	経験年数	
	10~15年未満	20~25年未満
一般行政職	大学卒	270,408円
	短大卒	250,850円
	高校卒	231,150円

期末・勤勉手当の支給割合(平成25年度)

区分	6月期	12月期	合計
期末手当	1.225月分	1.375月分	2.60月分
勤勉手当	0.675月分	0.675月分	1.35月分

退職手当(平成25年度)

勤続年数	20年	30年	35年	最高限度額
自己都合	23.03月分	40.67月分	46.55月分	55.86月分
勲奨・定年	28.7875月分	47.775月分	55.86月分	55.86月分

※退職手当は、埼玉県市町村総合事務組合の市町村職員退職手当条例により支給されます。

特別職の報酬など(平成25年度)

区分	報酬・給料	期末手当
市議会議長	報酬 月額 492,000円	6月期1.90月分
市議会副議長	報酬 月額 428,000円	12月期2.05月分
市議会議員	報酬 月額 403,000円	合計3.95月分
市長	給料 月額 910,000円	6月期1.875月分
副市長	給料 月額 755,000円	12月期2.025月分
教育長	給料 月額 683,000円	合計 3.90月分

特別職の報酬などの減額状況(平成25年度)

区分	減額率	期間
市議会議長、副議長、議員	報酬月額5%	始期 平成25年10月1日 終期 平成26年3月31日
市長、副市長、教育長	給料月額10%	始期 平成25年7月1日 終期 平成26年3月31日

職員の給与の減額状況(平成25年度)

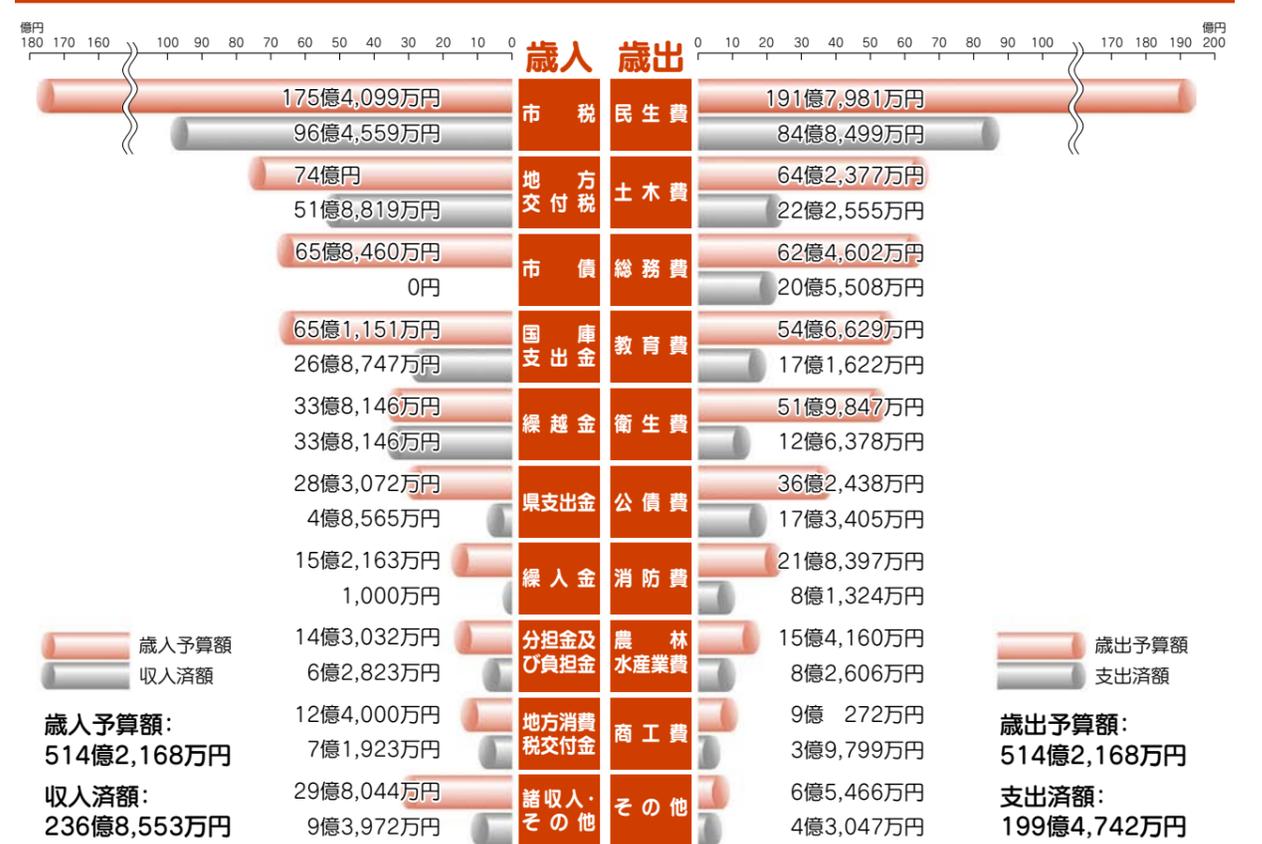
区分	減額率	期間
一般職 7・8級	給料月額の7.83%	始期 平成25年7月1日 終期 平成26年3月31日
一般職 3~6級 技能労務職 2級	給料月額の5.83%	始期 平成25年7月1日 終期 平成26年3月31日
一般職 1・2級 技能労務職 1級	給料月額の2.83%	始期 平成25年7月1日 終期 平成26年3月31日

平成25年度上半期 財政状況

皆さんが納めた税金や国から交付される地方交付税、国庫支出金などが1年でどのくらい入り、また、どんな事業にどのくらい使われたかという『財政状況』を毎年2回に分けてお知らせしています。

今回は、平成25年9月30日現在の財政状況をお知らせします。 **問い合わせ** 財政課 (☎574-6632)

一般会計



※表示金額未満を四捨五入しているため、合計と合わない場合があります。

特別会計

区分	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	167億9,314万円	81億8,990万円	76億2,309万円
後期高齢者医療	22億3,688万円	9億111万円	7億9,317万円
農業集落排水事業	8億844万円	4億6,477万円	3億7,087万円
国済寺土地区画整理事業	9億9,641万円	2億1,641万円	2億3,664万円
岡中央土地区画整理事業	1億2,356万円	3,804万円	1,675万円
小前田駅北西部土地区画整理事業	5,576万円	3,183万円	3,098万円

企業会計

水道事業 (税込み)		予算額	収入済額
区分			支出済額
収益的収支	収入	26億3,797万円	12億5,217万円
	支出	23億3,023万円	6億2,548万円
資本的収支	収入	40億6,049万円	0円
	支出	80億5,082万円	7億8,195万円

下水道事業 (税込み)		予算額	収入済額
区分			支出済額
収益的収支	収入	16億7,852万円	11億4,389万円
	支出	17億5,858万円	3億6,845万円
資本的収支	収入	12億4,714万円	6,129万円
	支出	19億3,051万円	6億1,272万円